



みんななで5.7.5

みんなで創るみんなのページ。川柳は今月も大人気で57点の応募が！紙面の都合上、その中から40点を掲載します。掲載できなかった皆さん、申し訳ありません。次回のご応募お待ちしております。

- ・物問えば 足て在りかを 示す妻 上山 惟裕 (高島市城山台)
- ・万札が 疾風の様に 去ってゆく 池田よし枝 (今津町今津)
- ・バス待ちに 足元あったか つくしんぼ 中崎 徳子 (朽木桑原)
- ・満開の梅 真白な雪で お色直し 川端 昭子 (高島市畑)
- ・杖を身に 彼岸参りの 有難さ 粟津 秀 (マキノ町山中)
- ・喜んだ 顔が浮かんで ケーキ買う 斎藤 光江 (安曇川町今在家)
- ・散歩道 昔話に 花が咲く 坂田 ツネ (今津町角川)
- ・入院して 皆のやさしさ 涙した 前田 とみ (今津町浜分)
- ・団子まきの 三角丸に 意味があり 赤塚 光恵 (安曇川町下古賀)
- ・夏近し かえるの合唱 にぎやかに 熊谷喜久雄 (今津町梅原)
- ・青空に 仲良く詠ぐ こいのぼり 熊谷 清美 (今津町梅原)
- ・冬の意地 弥生にしっかり 寒もどす 高澤 芳枝 (今津町松陽台)
- ・響き合う 和太鼓ライブ 感無量 藤森みち子 (朽木柏)
- ・春の風 小さな赤い 靴を穿う 鈴木 京子 (安曇川町藤江)
- ・運動の 汗上回る 過ぎた酒 平井 真造 (安曇川町上古賀)
- ・黄砂来て 美しい国 空霞む 山本喜代治 (安曇川町長尾)
- ・バーゲンで あれこれ迷い 何ひとつ 森本 幸枝 (今津町梅原)
- ・五月開を 待つのか今宵 蛙泣く 糸 洋一 (新旭町太田)
- ・年重ね 同級生の 絆増し 西川五磋三 (高島市高島)
- ・老体を 悩ませるよな 春の雪 高橋レイ子 (高島市鴨川平)
- ・講釈へ 杖をたよりに 頼い寺 小谷 久雄 (高島市高島)
- ・大根が 重くて猿が もてあまし 小谷 ひで (高島市高島)
- ・連休明け 水田一面 青田化し 井上 善三 (今津町浜分)

- ・悩み事 プラス思考で 吉となる 松本せつ子 (マキノ町海津)
- ・水ぬるむ 湖面にうつる 追いさて漁 伊吹 忠義 (マキノ町中庄)
- ・集いの場 持ちよる話に 花が咲く 上田 えみ (マキノ町浦)
- ・紙切れて 男泣きたり 笑うたり 河原田 勝 (今津町岸脇)
- ・大地震 夢も希望も けずりとり 梅村 保次 (安曇川町四津川)
- ・定年だ さてこれからは アレコレと 坂尾 真一 (新旭町旭)
- ・プレゼント 結びりボンに 愛を秘め 丸岡亜希子 (新旭町藁園)
- ・犬のふん 知らぬふりして くさりひく 福島 達子 (新旭町旭)
- ・涎げて行く 後追かける 猫の恋 石田 三造 (新旭町深溝)
- ・雲雀鳴く この下俺の 縄張りだ 寺田 義輝 (マキノ町西浜)
- ・時の流れか シャッター通りは 淋しいな 上野エミ子 (高島市鴨)
- ・むずかしい ありがと一言 いいづらい 上原 久枝 (新旭町針江)
- ・黙祷を 捧げ八十路の クラス会 清水イチ子 (今津町今津)
- ・スベシャルで 自然のいとなみ 観るたのしさ 富田つる江 (今津町角川)
- ・子の幸を 老いた二親 願掛ける 松山八夜夷 (今津町今津)
- ・散りざわも 見届けてくれ 姥桜 竹内 フミ (朽木荒川)
- ・春の風 花咲かせたり 散らしたり 梅村金次郎 (安曇川町藤江)

◆みんなで5・7・5「川柳」

【テーマは特に設けません。季節などは考慮してください。ひとり一作品として。自由に発想した作品をお待ちしています。】

★締切日が早くなりました！

締切日を月末に変更しました。7月1日号には、5月31日までに到着した作品の中から掲載します。

★投稿方法

郵便またはFAXにより、投稿者氏名(ペンネーム不可、ふりがな付)、住所、連絡先を必ず書き添えて投稿してください。また、作品にもふりがなをお願いします。

〒520-1150

高島市新旭町北畑565番地

高島市役所秘書広報課

「みんなで5・7・5」係まで

(240) 80-0000

☎koho@city.takashima.niga.jp

★注意!!

・掲載は一号につきひとり一点までとし、掲載希望が多数の場合は掲載できないことがあります。
 ・掲載作品は秘書広報課で選考します。
 ・住所、氏名、連絡先の無いものは掲載できません。投稿前にもう一度ご確認ください。

【お詫】

6月1日号に、ひとひの点の掲載がありましたのは当方の誤りによるものです。失礼いたしました。

主要プロジェクトの推進

若者の定住促進 食育推進 エコツーリズム推進

1 若者の定住促進プロジェクト

若者の定住促進は、地域に活気を呼び込み、地域を支える活力を生み出します。自然環境に恵まれ、地域のつながりや支え合いによる快適な生活空間をつくりあげるとともに、子育て環境の向上を図るなど安心して暮らせる地域社会の構築を図ります。また、地域の資源を活かせる就業の場の創出や企業誘致に向けた取り組みを進めながら、通勤・通学の利便性を高める交通ネットワークの充実を図るなど、若者の定住の促進を図り、人口構成の安定化を目指します。



基本構想に定める「環の郷たかしま」の実現に向け、5つの主要政策の連携を図り、総合的に施策を展開するため、3つの主要プロジェクトを推進します。

2 食育推進プロジェクト

人の命と健康は「食」に由来するという考え方から、食を楽しみながら人が豊かになっていくことを目指し、食育を通してまちづくりを展開します。健康な身体づくりや栽培環境への意識付け、また、世代間・地域間交流や連携を図るとともに、豊かな心と感謝の念を育てます。こうして、健康・農林水産・教育・環境などの分野を「食」でつなぐネットワークを形成し、環境に配慮した安全な食物の生産が高島の地域ブランドとなるような取り組みを推進します。



③ エコツーリズム推進プロジェクト

歴史・文化や地域資源の再発見、環境学習などを通して、観光交流産業を活性化させるほか、本市に暮らす誇りと地域資源の保全、日常行動への意識改革を図ります。そして、環境や景観から地域のブランド力を高め、本市の理解者（ファン）を生み出し、地域を支える新たな力を生み出すことを目指します。加えて、高齢者の知恵や経験をガイドなどの観光ビジネス部門に生かすなど、地域内の人的資源の活性化を図ります。

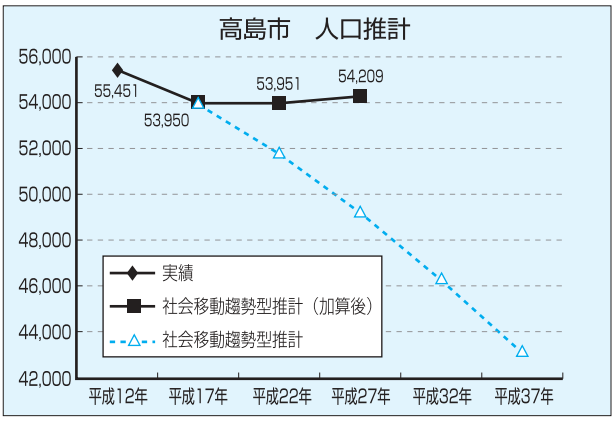


高島市の将来の姿

本計画では、10年後の目標人口と土地利用方針を定めています。

人口

本市の人口は、平成12年の国勢調査で増加傾向のピークを迎え、平成17年の調査では2.8%減の53,950人となっています。年間の転出者が転入者を上回り人口が減少に転じているため、このままの状態が続くと、10年後に50,000人を割り込み、高齢化率は30%を越えるまでに達すると予想されます。このため、本計画をもとに、自然と共生し安心して暮らせる総合的なまちづくりを推進することで、10年後の人口を現状と同程度の54,200人と見込んでいます。



土地利用方針

近年の土地利用形態は、森林や農用地が減り、宅地が増える傾向が続いています。一方で、集落内には空き家が目立ち始めている地区や、別荘地・宅地分譲地にはまだまだ多くの未利用地があるのが現状です。今後も本市が住みよい環境を保っていただけるよう次の方針を定め、明確な利用調整と土地利用の促進を図ります。

- 〈土地利用方針〉
- 豊かな自然環境を保全・活用し、人の暮らしとの共生を図ります。
 - コンパクトなまちづくりと秩序ある土地利用を図ります。
 - 均衡の取れた地域整備を図ります。

総合計画の策定に当たり、住民意向聞き取り調査（3,000人対象）や高校生アンケート（670人）、市民懇談会（計10回開催）、計画概要説明会、パブリックコメント、更には地域審議会などで、多くの皆様から貴重なご意見・ご提言を賜りありがとうございました。

今後は、本計画をもとに、実施計画などで具体化を図り、事業や施策を推進します。引き続き市政等に関するご意見やご提言を賜りますようお願い申し上げます。

問：企画部政策調整課 ☎(25)8114

市長日記

空を泳ぐ鯉こいぼに大人も元気づけられますね。「念ずれば花ひらく」で有名な詩人 坂村真民まきみさんが「キラキラする季節」と愛された5月を迎えました。地域のお祭りが目白押しで、里も山も水辺も命の営みが溢れます。

エコツアーの達人が、お祭りの日もいけれど、練習や準備の様子、そして言葉にできない高まりも立派な観光資源であり、地元の方のお話はそれこそ掛けがえがないのだと教えていただきました。今年は祭りに向かう高揚感に注目です。

高島市の総合計画が策定され、「お互いさま」と「おかげさま」が対流する「環の郷たかしま」の実現がまちづくりの理念と定められました。人と人、人と自然、過去と未来を繋ぎ、循環を再生させ、子や孫に誇れる郷土を創っていくこととするものです。

長寿社会を豊かに暮らし、若者が働け、子育て環境も高めていくために、大きな公共サービスを、小さな地方政府で実現していくことが必要です。そのための協働を模索し、公務員でなければならぬ事と、民間の知恵と工夫と行動力で行政以上の満足を提供できる事を見極め、分担をしていきます。

共時性という言葉がありますが、東近江市でも文化政策ビジョンに「お互いさまとおかげさま」という言葉が盛り込まれるそうです。先方の担当者から遠慮気味に連絡が参りました。いっせ琵琶湖の西と東で「お互いさまとおかげさま」を共にすすめようと思しました。時代の心理の深いところで、人の心と人間関

係の再生が必要だと多くの人が思い始めている。共時性の理論では、思いが一定レベルに達すると、加速度的に広がり実現に向かうとされています。

梅の花が咲く頃、高島藤樹会から第2回藤樹賞が致知出版社に贈られました。古典に学ぶとともに一隅を照らす無名の人を取り上げ、29年間、真剣に生きている人を応援する雑誌を発刊してこられた功績です。

出張の折にご挨拶に寄ると、応接室には、坂村真民さんから贈られた額が掲げられ、隣に藤樹賞の額と盾が飾られていました。社長さんは直木賞や芥川賞より嬉しいと社員の皆さんに披露されたそうです。今年お、藤樹先生の遺徳が真面目に励む人を応援し導いてくださっています。来年は藤樹先生生誕400年。みんなで記念事業を考えましょう。

地球環境大賞のレセプションで、高島の市民団体の方から5R運動の考え方を習いました。市はこれまで世界標準の4Rを提唱してきました。リフューズ（買わない、断る）・リデュース（減らす）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）です。5番目にリペア（修繕）を加え5R運動にしようと思っています。これでスクラップ・アンド・ビルドを題目にし、修繕・保存・再生は関心が薄かったと思います。これまで「修繕は新品を買う程かかる」といわれたら躊躇せず新品に手を伸ばしてきましたが、「大事に使い愛着を育てる」良き心の再生が同時多発的に起こることを願っています。

海東英和 拝

※共時性：連絡を取り合ったわけでもないのに、全く違うところまで同じことが起こること（シンクロナシティとも言う）。

チャレンジ

省エネ長者作戦

毎日の生活の中で、節電などの省エネを心がけることは、地球にやさしく、家計を助けることにもなります。また省エネは、家庭でできる地球温暖化対策です。このコーナーでは家庭で簡単にできる省エネを紹介します。

◆省エネアドバイス

【電気ポット編】

☆長時間使用しないときはプラグを抜きましょう！

・年間で電気107・45 kWhの省エネ・約2、360円の節約

（ポットに満タンの水2.2ℓを入れ沸騰させ、1.2ℓを使用後、6時間保温状態にした場合と、プラグを抜き保温しない再沸騰させて使用した場合の比較）

☆保温は低めの温度で！

低めの温度で保温し、必要ときにその都度再沸騰させましょう。

☆省エネタイプにご注目！

マイコン型電気ポットの年間消費電力は、冷蔵庫の年間消費電力より大きいというデータもあります。最近、「電気ですべて魔法瓶で保温」といった保温電力量を従来のもの約5分の1に節約したものが※もありません。

※省エネ大賞受賞
（VE電気まほつびん）

■出典：家庭の省エネ大事典（財団法人／省エネルギーセンター発行）
<http://www.ecci.or.jp/dict/>

◆このコーナーに関するお問い合わせは環境政策課まで

省エネでデイズニーランドへ行こう！

～省エネ長者 キャンペーン～

冬場所の報告期限は5月10日です。

詳しくは、広報たかしま11月15日号（No.31）をご覧ください。

写真 まち 真館



あんなできごと、こんな人。まちで起こったホットなニュースを紹介します。ニユースは皆さんから大募集!! あなたのとびつきりを紹介してください。

滋賀県初の快挙 全日本少年少女空手道選手権で見事、準優勝！

3月21日(水)、第6回全日本少年少女空手道選手権大会が東京武道館で開催され、高島市から次の方が滋賀県代表として出場し、全国の舞台上で大健闘されました。

形競技（男子の部）

小学1年生 野田 一成さん（新旭北小学校）準優勝

小学3年生 河原田 大生さん（新旭北小学校）2回戦敗退

組手競技（男子の部）

小学4年生 野田 健太郎さん（新旭北小学校）3回戦敗退

なお、形競技で準優勝された野田一成さんの成績は、滋賀県選手団として初めての快挙となりました。

（新旭振興室地域振興課）

関フィルによる演奏指導が実現！

アイリスウインドオーケストラが、関西フィルハーモニー管弦楽団に演奏指導をお願いしていたところ、3月24日(土)にその願いが実現しました。

当日は、フルートやクラリネットなど各パートに分かれ、8人の団員から正しい演奏方法や効果的な練習方法のレッスンを受けました。プロによる熱心な指導に、団員一同大いに自信をつけました。

（新旭振興室地域振興課）

